

アラフィフ以上の人を対象とする「学び直し」の場を始める――。2019年12月のこのコラムでこう書いた。アラフィフの学び直しというと、かつては意識改革ばかりが主要テーマだ



った。私が標榜するものは違ふ。「心のもちよう」を整え、どんな仕事をするにしても必要となる「ポータブルスキル」を徹底的に鍛える場だ。

私が発起人で理事を務める社団法人PHAZEで

インディゴブルー会長

柴田 励司



――1985年上智大文卒。マーサージャパン社長、カルチュア・コンビニエンス・クラブの専務執行責任者（COO）などを経て、2010年インディゴブルー社長、15年から会長。

「PHAZERリカレント」にやるべきことがある。そのプログラムを始めることにしたが、「心のもちよう」のメッセージが対象だったが、アラフィフ以上にすると、3か月で40コマのプログラムを受講してもらう。時に、オンライン受講の環境を整えること、これら

の共有で10コマの合計40コマだ。プログラム期間中はSNSツールにも慣れてもらう。早期に開くことで身体のリズムを整えてもらう。また、私の言うポータブルスキルは自分の考えを整理し、書き、話すこと、物事の段取りを整えること、これら

ポータブルスキルの鍛錬

に直結するスキルだ。スキルである以上、一定期間、

儀なくされている人が増えている。一方で、年金の財源問題もあり、定年70歳で呼び声が大きくなってきている。私が監修する10コマの「学び直し」には、立ち行かない状況になることとは明らかだ。「リスクリング」（デジタル時代の新しいスキルの習得）が叫ばれているが、多くのアラフィフ以上にとってはその前

間帯はいずれも午前7時から8時ですべてオンラインで行う。私が監修する10コマ、挑戦者たち、先人たちは、社長経験者たち10名の講話で10万円（税別）。1コマあたり2500円だ。大企業に長く務めるとその企業に特定の仕事をするためのスキルは鍛えられるが、ひとたび外に出ると応用が効かないことがある。基本と

が整っていない人は受講できない。さすがにこれは必要最低限の準備がほしいところだ。参加費用は3カ月10万円（税別）。1コマあたり2500円だ。大企業に長く務めるとその企業に特定の仕事をするためのスキルは鍛えられるが、ひとたび外に出ると応用が効かないことがある。基本と